

平成26年度一番茶実収報告

高知県農業技術センター茶業試験場

1. 摘採日

本 年	前 年	平 年
5月 1日	4月 23日	5月 2日

1) 平年値はH21～H25年の平均値。以下同じ。

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		平 年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
330±46	82	292±38	73	401±94	100

1) 可搬型摘採機による5カ所の平均値。

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		平 年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
36.1±2.4	87	35.0±2.2	85	41.3±4.1	100

1) うね長0.2mの帯摘み5カ所の平均値。以下同じ。

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		平 年	
本 数	指数	本 数	指数	本 数	指数
984±144	106	865±30	94	925±194	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	平 年
68.4±6.7	44.6±15.8	45.0±8.8

6. 概況

(1) 気象

気 温：4月第2半旬は平年よりも低く、4月7日には最低気温が-0.5℃となり、降霜も見られた。その他の期間はほぼ平年並みに推移した。

降水量：4月の降水量は152.5mmで、平年の76%であった。

(2) 茶芽の生育

摘採日は5月1日で平年(5月2日)よりも1日早く、前年(4月23日)よりも8日遅かった。新芽数は平年よりも多かったが、百芽重は平年よりも小さく、収穫量は平年の82%であった。生長の早い大きな新芽と遅い小さな新芽の生育差が大きく、4月7日の霜の影響で1うねの山側と谷側の生育差も大きかった。

場内の一部ではカンザワハダニ、コミカンアブラムシの発生が見られ、ツマグロアオカスミカメの被害も見られたが、防除が必要なほどではなかった。